

第2部課程第168期 (平成25年10月22日～12月27日)

課 目 名	5-2 行政経営の理論と実践
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	<p>一橋大学大学院法学研究科教授 辻 琢也 <プロフィール></p> <p>1962年北海道函館市生まれ。東京大学大学院総合文化研究科(相関社会科学専攻)博士号取得。専攻は行政学・地方自治論。東京大学助手、政策研究大学院大学助教授等を経て、2005年より現在に至る。1996-1997年には米国ジョンスホプキンス大学高等国際問題研究大学院ライシャワーセンター客員研究員を兼任。国土交通省「社会資本整備審議会」委員、国土交通省「国土審議会」委員、総務省「定住自立圏構想の推進に関する懇談会」委員、総務省「地方公共団体における事務の共同処理の改革に関する研究会」座長、東京都「東京の自治のあり方研究会」座長、千葉県「行政改革推進委員会」委員長、横浜市「新たな大都市制度における広域連携・財政調整に関する研究会」座長、川崎市「行財政改革委員会」委員長等を務める。</p>
ね ら い	<p>新しい「行政経営」(New Public Management)の基本的な考え方と、日本における具体的な取り組みを、批判的に検討する。</p>
講 義 概 要	<p>New Public Management について、マックス・ウェーバー以来の官僚制理論と対比しながら理解し、その特徴が①市場原理の活用と、②民間的な経営手法の導入にあることを明らかにする。さらに、NPM先進国である英国と米国の事例を紹介し、その後、D. Osborne “Reinventing Government” の整理に従って、日本における展開事例について批判的に検討する。なかでも、争点となるのは、民間委託と行政評価のあり方である。</p>
受講上の注意	居眠りしないで受講すること。
使用教材	講義レジュメと関連資料。
効果測定	なし。
そ の 他 (他の課目との関連)	平易な内容なので、受講に際して前提となる講義・知識はない。